

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	最新情報Ⅰ（実教出版）				
補助教材	最新情報Ⅰ学習ノート(実教出版)						

学習目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身に付ける。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4 月	第 1 章 情報社会と私たち 1 節 情報社会	情報社会で責任をもって生活していくために、情報に関する法規や制度に適切に対応する力、情報モラルに配慮して情報を発信する力、情報セキュリティを確保する力を身に付ける。	期末考査
	5 月	2 節 情報社会の法規と権利 3 節 情報技術が築く新しい社会		
	6 月	第 2 章 メディアとデザイン 1 節 メディアとコミュニケーション	メディアの特性について、その変遷も踏まえて理解する。 コミュニケーション手段の変遷について理解し、状況によってどの手段を用いるのが適切かを考える。	
	7 月	2 節 情報デザイン 3 節 情報デザインの実践		
	2 学期	8 月		
9 月		2 節 情報のデジタル化		
10 月		第 4 章 ネットワークとセキュリティ 1 節 情報通信ネットワーク	情報化が生み出したあらたな犯罪に触れ、正しい知識と判断力、メディアリテラシーの重要性を理解する。 ブレインストーミングやグループディスカッション等の問題発見・解決の手法を学ぶ。 データの分類方法について理解する。	
11 月		2 節 情報セキュリティ		
12 月		第 5 章 問題解決とその方法 1 節 問題解決 2 節 データの活用		
3 学期		1 月		3 節 モデル化 4 節 シミュレーション
	2 月	第 6 章 アルゴリズムとプログラミング 1 節 プログラミングの方法		
	3 月	2 節 プログラミングの実践		

学習の方法	日頃の生活において、パソコンやスマートフォンが欠かせない時代となっています。今後もITは進歩していくことが予想され、そのような社会の中で活躍していくには、あらたなITビジネスを生み出すアイデアの想像力、大小さまざまな問題を解決するための分析力・構成力・統合力などが必要です。それらの力の基礎となるのが、「情報」の基礎知識です。情報モラルを考えながら実習中心の学習に意欲的に取り組みましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考查の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、実習での作品、提出物（課題、学習プリント等）・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		